

年頭のご挨拶

館長 島崎宏明



新年明けましておめでとうございます。昨年中は、地域のみなさんには、公民館活動に多大のご支援ご協力をいただき、充実した事業推進が出来ましたことを厚くお礼申しあげます。

世界的な不況の中で、半世紀ぶりに政権交代となり、日本も大きく変わりました。企業の生産縮小による雇用の低迷、所得の減少による消費の抑制、物価の下落等々大変な状況になってきました。一日も早く上向いていくことを切望するものです。

巷では暗いニュースばかりですが、地域の皆様には今年がすばらしい年になることを祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

「岩村ふれあい便り」発行への取り組みについて

今年で創刊五年目を迎えました。「ふれあい便り」の編集を担当するのは公民館審議委員の

平成22年度 各部落役員（敬称略）

(部落名)	(総代)	(年番)
堀ノ内	功 士 功	小笠原国夫 (東)
金 地	中尾武夫	上西清利 (西)
包 末	耕 崎 勇	柏井章雄 (代表)
福 船	西尾 啓	黒岩村直喜 (船渡)
蔵福寺	大畠裕子	野村常喜 (明興)
		窪田倉輝 (正)



五名で創刊以来、年間三回発行してきました。但し、今年は二回の発行で、今回の十四号は一部カラー印刷に挑戦しました。この広報の編集、発行に当たっては次の様な内容及び手順で行われています。

・最初に編集内容「記事」を協議して決める。

・原則として、年間三回の発行とし、第一回の発行は挨拶文や各地域（部落）の各種役員や

委員の紹介、J.A中央支所情報、日章小学校新入生（岩村出身）の紹介を入れる。「マイ孫」の紹介は各号に必ず入れる。

・公民館の主な年間の行事  
公民館講座、移動学習、男の料理教室、ボウリング大会の他、健康づくりウォーキング体験、更に臨時の公民館研修等、これらの各行事は参加者の感想文を入れる。（写真を入れる）

・地域住民に「エッセイ、意見、趣味等・・・」について投稿を依頼する。（投稿依頼は岩村地域に必ずしも限定しない）  
・発行日程に応じて、広報部会を開いて協議し、最後に校正作業により原稿を仕上げる。

・広報原稿の仕上げにはパソコン部の協力は欠かせないが、大畠晴氏、岡崎純男氏のご協力とご尽力により印刷原稿が完成する。広報の印刷は社会教育指導員（田中京子さん）にお願いしている。

・広報は、岩村の全所帯に配布する。更に岩村地域の他に南国市の公民館、地元の小学校、中学校、保育園その他各種関係機関にも配布している。

地域活性化は高齢者パワーで

社協会長 中尾孝夫（金地）

過日九月三十日、お足元が悪いなか八十名（対象者二四一人）のご出席をいただき、岩村地区敬老会が開催されました。来賓として、南国市長 橋詰壽人様、南国市議会議長代理 岡崎純男市議会議員、高知県議会議員溝淵健夫様にご臨席頂き暖かい心の中もったご祝辞をいただきました。橋詰市長さんのお話によると、当地区の敬老会は毎年南国市で最後に開催されるようです。特に印象深いそうです。

ご出席の皆様、平均年齢は78.3歳（敬老会対象者79.2歳）でしたが、大変お元気で主催者側の私達が逆にパワーを頂きました。

